

1. 基本情報

- (1) 国名：イラク共和国（以下、「イラク」という。）
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：ムサンナ県サマーワ市
- (3) 案件名：サマーワ上水道整備計画（Samawah Water Supply Improvement Project）
- (4) 計画の要約：本計画は、イラク南部のムサンナ県サマーワ市において、淡水化施設を含む上水道施設整備を行うことにより、給水量・水質・給水時間の向上及び水資源の有効利用を図り、以て同市の安定した飲料水供給等の生活基盤の整備及び経済的・社会的発展の促進に寄与することを目的とする。

2. 計画の背景と必要性**(1) 本計画を実施する外交的意義**

我が国は、対イラク国別開発協力方針（平成 29 年 7 月）において、イラクに対し、「経済成長のための産業の振興と多角化」、「経済基礎インフラの強化」及び「生活基盤の整備」を重点分野として協力していくこととしている。イラクは石油資源に富むことから、日本とは互いに必要とする関係にあり、イラクの安定的な発展は日本にとって重要な意義がある。また、本計画は、量・質ともに安定した水供給を行うことにより対象地域住民の生活環境改善に寄与するものであり、SDGs ゴール 6「万人の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理の確保」に貢献すると考えられる。以上のことから、本計画の実施は外交上の意義が認められる。

(2) 当該国における上水道セクターの開発の現状・課題及び本計画の位置付け

イラクの上水道セクターにおいては、1980 年代までに水道普及率は都市部で 95 %に達していたが、度重なる戦争や治安の悪化等により、施設の更新・維持管理が十分に行われず、水質及び給水率の低下を招いた。ISIL による侵攻等の影響もあり、既存施設の老朽化・機能低下が進み、同国内の給水人口のうち約 25%の家庭では給水時間が一日あたり 2 時間未満という状況（*1. イラク国南部上下水道開発計画に係る基礎情報収集・確認調査（2016 年 7 月））になるなど、上下水道分野を含む生活基盤の水準は著しく後退した。

本計画の対象地域であるイラク南部ムサンナ県の上水道普及率はイラク国内で最低の 66.7%という状況であり（*1）、住民の水需要に応えられていない。県都であるサマーワ市はイラク国内の県都で唯一浄水施設を市内に有しておらず、約 25km 離れたルメイサ市の浄水施設から給水を行っている。一方で、ルメイサ市からサマーワ市に送水される過程で漏水や違法接続等により約 24%の水が損失し、サマーワ市内においても漏水率が 42%と推定されているため（*1）、サマーワ市内の浄水場の建設及び配管の更新が急務である。また、本計画の水源となるサマーワ市近郊のユーフラテス川は、ペルシャ湾からの海水遡上等により塩分濃度が極めて高く、淡水化処理が必要となっている。このため、同市内に淡水化施設の建設を含む上水道施設の整備を行うことで、サマーワ市の住民に対し安全な水の安定供給を確保することは喫緊の課題である。

イラク国家開発計画（National Development Plan 2018-2022）では、人口増加に対応した飲料水の提供やその水質の向上、水損失を 10%以上減少させることが目標に掲げられている。また、2020 年 10 月に策定された「経済改革白書」においても、飲料水供給を含む公共サービスの着実な提供を行うことが、様々な改革を進めていくための鍵となるとされており、生活基盤

の整備に資する本計画は同国の開発政策に合致するものである。本計画の実施に加え、同国向けに実施予定の上水道分野の国別研修や課題別研修との連携を図り、実施能力の向上を図る予定。

3. 計画概要

* 協力準備調査の結果変更されることがあります。

(1) 計画概要

① 計画内容

ロット1：淡水化施設等の建設：取水施設の建設、導水管の整備、RO 膜処理浄水施設の建設、送水管の整備、浄水施設の維持管理契約

ロット2：配水施設の改修・拡張：配水池の改修、配水網の改修・拡張、送水用ポンプ場の改修、送電施設の整備、RO 膜処理上水施設のための受変電設備の建設、コンサルティング・サービス（詳細設計、入札補助、施工監理、研修、住民への啓発活動、運営・維持管理支援等）

② 期待される開発効果

浄水場の新設（120,000m³/日）によりサマーワ市における飲料水供給量の増加及び上水道サービスの改善が期待される（受益者数：245,000 人（2021 年）→490,689 人（2032 年：人口増加分を加味）、給水時間：2-10 時間（2021 年）→24 時間（2032 年）、飲料水の水質改善（水中の総溶解固形物（TDS））：3,000mg/L（2021 年）→500 mg/L 以下（2032 年））。

③ 借入人：イラク政府

④ 計画実施機関／実施体制：地方自治・公共事業省（MMPW）内にプロジェクト管理チームを設立し、事業実施管理にあたる予定。

他機関との連携・役割分担：特段無し

⑤ 運営／維持管理体制：MMPW の傘下にあるムサンナ上水道局が運営・維持管理の責任を持つ。

(2) その他特記事項

- 環境社会配慮カテゴリ分類：B
- ジェンダー分類：GI（ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件）
- 他の援助機関の対応：世界銀行はバグダッドでの上下水道整備を支援。また、国連機関や各国ドナーがイラク各地での浄水場の建設等の支援を行っている。
- 安全対策：サマーワ市の治安はイラク国内の他地域と比較して安定しているものの、外務省海外安全ホームページにおいて、危険レベル3であるため、調査時は安全対策に十分留意する。

4. 過去の類似案件の教訓と本計画への適用

- インド「地方上下水道・衛生環境整備事業」の事後評価結果等から上水道事業においてサービスの需要と住民の支払い意思・能力を的確に予測し、最大限の受益者負担を可能とする料金体系及び戸別接続の普及に関し現実的な計画を検討する必要があるとの教訓を得た。
- 上記教訓を踏まえ、本計画では上水道分野で住民に対する広報・啓発活動の実施や、水道事業の経営強化を目的とした JICA の本邦研修や第三国研修等を通じた無収水率削減、財務改善、人材開発等を検討予定。加えて、MMPW 及び財務省・計画省が策定する予定の上水道事業中長期計画を前提に、設定料金にかかる検証、料金設定プロセス、徴収方法等につき協議・検討を行っていく予定。

以 上

[別添資料] 地図

[別添資料] 写真



出典：UN Map (URL: <https://www.un.org/Depts/Cartographic/map/profile/iraq.pdf>)



写真 1: サマーワ市内の受水槽



写真 2: 取水施設建設予定地



写真 3 : ルメイサ市の既存浄水場の取水地点の川の状況